

NY生活

www.info-fresh.com/nyseikatsu

2005年2月26日 土曜日 ■NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069
 ■18 E. 41st St, Suite 403, New York, NY 10017

紀伊國屋書店

www.kinokuniya.com/ny/

ニューヨーク店

TEL: 212.765.7766 FAX: 212.541.9335

NY日本人 教育審議会

事務局火事は放火

グリニッチ警察が断定

16日午後10時過ぎ、ニューヨーク日本人学校（コネティカット州グリニッチ）にあるニューヨーク日本人教育審議会（坂本和彦会長）の事務局（松村成局長室を全焼、建物が半壊した。出火原因を捜査しているグリニッチ警察は20日、放火によるものと断定。22日消防署が記者発表した。

同警察のエドワード・ザック刑事は「犯人は、日本人学校の校舎売却交渉の資料を抹消する目的で、資料とコンピュータのある松村事務局長室をターゲットにして放火したことは明らかだ」と、火事原因が昨年来同校の

◇本紙「週刊NY」日本経済新聞に毎日ト地区でオフィ

「生活」は、一般無料配付に加え、
毎週木曜日に折り込まれトライステ
ースと家庭に配達されております。

懸案事項であった校舎充
却に絡む犯行と語った。
捜査線上に複数の容疑者
が浮かんでおり関係者を
事情聴取している。

出火時残業していた職
員からの電話で駆け付け
たという登喜校長は、翌
17日、二子供達に影響が
なかったことが本当にな
りよりの救い。神の恵み
だったと思う。授業には
全く支障はないので保護
者にも心配しないよう伝
えた。と疲れ切った表
情で語った。火事の翌日
も平常通り授業を行ない
保護者に火事があったこ
とを同日、文面で伝えた。

この火事を受け、審議
会の坂本和彦会長が翌17
日午後現場を視察。校舎
から離れているとはい
え、同じ敷地内の事務局
の火事に当局が初動捜査
段階から不審火として捜
査した衝撃は大きく、18
日に緊急理事会を開き
「売却交渉の建物が刑事
事件の物証になっている
現状のまま売却交渉を進
めることはできない」と
して事件が解決するまで
交渉を凍結することを決
めた。しかし、売却の前
提はそのまま残し、事件
解決を待つて交渉再開す
ることを確認した。

坂本審議会議長辞任へ

また6月の任期満了を
待たず、坂本会長は3月
いつばいで辞任する意向
を18日の緊急理事会で表
明した。事務局長進退問
題については3月末日付
で石田次長を昇格させる

方針を示したが、松村事
務局長が難色を示してお
り3月の理事会まで判断
を持ち越した。火事で、
事務局長室にあった売却
交渉資料は焼失した。
(関連記事2、3面に)

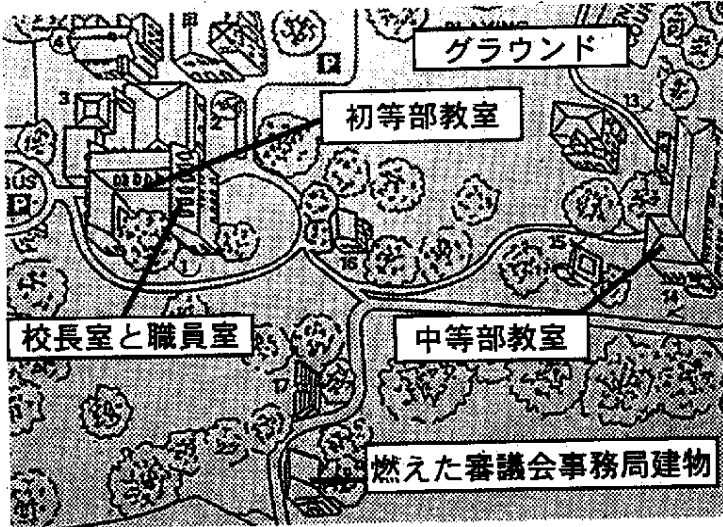
いつたい誰が？

警察、怪文書に関心

警察によると放火目的「売却交渉資料の抹消」であることが明らか(ザック刑事)。
 では誰が？
 契約の不明朗さが白日の下に明らかになったのは、困る人間が追い詰められて犯行に及んだものか、もしくは同校校舎の売却

審議会事務所放火事件

だけに止まらず、他の記録が露呈するのを恐れた者か、または何らかの金銭がらみのトラブルか、売却に反対するグループ、もしくはそこから依頼された者か。学校敷地内の建物に放火すると、いう同町でも前代未聞の犯罪に警察と消防では小さな可能性も含めて洗い直し、捜査を進めている。1月に全役員に送付された怪文書と関係があるのか？本紙編集部には昨年10月にも同様の怪文書が送付されてきている。そこには事務局の運営に対する不信感が切々と記されている。事務局に恨みを持つ者、書類が燃えて一番得する者はいったい誰なのか。売却交渉は中断された



が、事件解決後の交渉再開と9月合流の前提は崩さず、4月からの新学期では、買手側が使うことになる現在の中等部校舎建物を空け、中等部は現在の初等部教室に移動する方針だ。

審議会事務所敷地外へ
 日本人学校の登喜校長は22日、保護者に「J E I(審議会)事務所火災後の児童生徒の安全について」と題する手紙を配布した。(1)8日から当面J E I事務所の学校敷地外への移転を通知した。

坂本審議会長発表文
 ニューヨーク日本人教育審議会の坂本和彦会長が22日付で関係者に出した発表文は次の通り。

このたびは、2月16日夜に発生致しましたニューヨーク日本人学校(TJRI)敷地内の教育審議会事務所火災について、関係者の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしておりますこと、まずはお詫び申し上げます。現在、グリニッチ市消防および警察当局による調査が進められておりますが、誠に遺憾ながら、

先週火災事務審議早き継続し力に優るに先学このたびは、2月16日夜に発生致しましたニューヨーク日本人学校(TJRI)敷地内の教育審議会事務所火災について、関係者の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしておりますこと、まずはお詫び申し上げます。現在、グリニッチ市消防および警察当局による調査が進められておりますが、誠に遺憾ながら、

先週末に火災の原因が
放火であるとの連絡が
事務局宛にありました。
審議会としては一刻も
早い解決にむけ、引き
続き調査に全面的に協
力していく所存です。
この様な状況下、特
に学校の安全管理を最
優先事項と考え、対処
しております。
具体的には、ニュー
ヨーク日本人学校（グ
リニッチ）の敷地にお
いて、2月18日夕刻よ
り、地元警察による24
時間体制での警備を開
始し、子供達や学校教
育へのご迷惑がかから
ない様に対処しており
ます。

また、現在進行中の
学校売却・リースパツ
ク交渉につきましても、
火災事件の調査結果が
明らかになる迄の期間
一時的に交渉を中断し
ておりますことをあわ
せてご報告致します。
尚、所在地が別であ
るニューヨーク・ニュ
ージャージー補習校、
及び、ニュージャージ
ー日本人学校（全日校）
については、授業等に
支障はございません。
今後、事態に進展あ
り次第、都度ご連絡さ
せて頂きます。引き続
きご支援の程、宜しく
お願い致します。
(原文まま)

狙われた事務局長室



放火された審議会事務局。左手前が事務局長室。(17日午後1時半、三浦良一写す)

校舎売却は凍結 保管交渉資料を焼失

室内に放火の跡
霧に包まれていた校舎売却交渉が、真っ黒な煙に包まれて、とうとう灰になってしまった。火事のあった日に建物を最後に見た事務局の女性職員は午後4時にコートとを抜いて「いつものようにたたく交わらずに帰宅した」という。火事はそれから6時間後に建物内部から出火して起こった。20日まで警察犬を動員して現場検証が続けられ、事務局長室から放火の物的証拠を発見、火元を事務局長室と特定した。事務局長室には鍵が付けられているが、普段は鍵はかけられておらず、誰でも出入りできたという。警察では、火事のあった午後10時前に事務局長室

霧に包まれていた校舎売却交渉が、真っ黒な煙に包まれて、とうとう灰になってしまった。火事のあった日に建物を最後に見た事務局の女性職員は午後4時にコートとを抜いて「いつものようにたたく交わらずに帰宅した」という。火事はそれから6時間後に建物内部から出火して起こった。20日まで警察犬を動員して現場検証が続けられ、事務局長室から放火の物的証拠を発見、火元を事務局長室と特定した。事務局長室には鍵が付けられているが、普段は鍵はかけられておらず、誰でも出入りできたという。警察では、火事のあった午後10時前に事務局長室

火災原因を捜査しているグリニッチ警察は17日夕、本紙編集部に電話で、本紙2月19日号2面に掲載された「グリニッチNY日本人学校、霧に包まれた売却交渉」記事の英語翻訳文の提出を捜査協力依頼として要請した。本紙では既報内容を越え、本紙で要請に協力することを21日までに同記事英語翻訳文を提出した。翻訳内容の一部が翌22日付グリニッチ・タイム紙で報じられた。

室内に放火の跡
霧に包まれていた校舎売却交渉が、真っ黒な煙に包まれて、とうとう灰になってしまった。火事のあった日に建物を最後に見た事務局の女性職員は午後4時にコートとを抜いて「いつものようにたたく交わらずに帰宅した」という。火事はそれから6時間後に建物内部から出火して起こった。20日まで警察犬を動員して現場検証が続けられ、事務局長室から放火の物的証拠を発見、火元を事務局長室と特定した。事務局長室には鍵が付けられているが、普段は鍵はかけられておらず、誰でも出入りできたという。警察では、火事のあった午後10時前に事務局長室

を受け取っていた。保護者からは「地元の新聞グリニッチ・タイム朝刊一面に『日本人学校火事』という記事を見てびっくり。せめて朝のバス連絡網で火事があったこと、授業には支障がないことを連絡してほしい」という声が多く聞かれた。同日の下校時に学校は児童生徒に保護者あての「お知らせ」で「日常の学習活動に支障を来すことはまったくありません。今後とも子供たちの学校生活に充分配慮して参りますのでご安心いただけますように」との手紙を生徒に持たせた。

地元警察が捜査協力要請